

子どもが主役!

仕事って大変!
仕事って楽し〜!

職場体験チャレンジウィーク

六月二十八日から四日間、町内外各地の事業所で、職場体験学習「チャレンジウィーク」が行なわれ、西原中・西原東中の二年生がさまざまな職場で仕事を体験しました。普段からよく見ている職業もあれば、どんな仕事をしているのか想像がつかない仕事も。参加した生徒は、どの仕事も「想像していたよりずっと大変」と口を揃えていましたが、「将来の目標を考えるいい機会になった」と話してくれました。



生徒で考える学校づくり

第7回中学生フォーラム

七月九日、町中央公民館で西原町・中城村・北中城村にある四中学校が集まり、中学生フォーラムを開催しました。フォーラムには、それぞれの中学校から生徒会役員を中心とした代表者が出席し、「雰囲気の良い学校にするためには」「四校での交流を深めるためには」というテーマでディスカッションを繰り広げました。

「雰囲気の良い学校にするためには」という討議では、西原中から「あいさつを実践し学校の雰囲気をつくる」と、西原東中からは「一人ひとりが成長することで学校の雰囲気はよくなる」と提案しました。それに対し各校から質疑がなされ、メンバーで協力して応答する姿が見られました。

西原中学生会長 砂川由将(ゆうしょう) さんと西原東中学生会長の平良棟子(とうこ)さんは、「他校からいろんな提案や意見が聞けた。自分の学校でも取り入れて盛り上げたい」と感想を語りました。



校歌を歌って自己紹介(西原東中)



意見をまとめるため議論中(西原中)



他校の発表を聞く姿勢は真剣そのもの

西原町海外移住者子弟研修生受入事業

南米から西原に来ました!

7月1日から「西原町海外移住者子弟研修生受入事業」で留学生が南米から西原町にやってきました。ペルーの西原町人会で活躍している仲宗根フェルナンド吉修さん、ブラジルで沖縄音楽のバンドを組んでいる大城アレシャンドレ明広さん、アルゼンチンで大学に通い、今回初めて沖縄に来た久田ナディナ・ジェシカさんの3名です。3名とも祖先が西原町出身で、親や祖父母から沖縄や西原のことを聞き、今回の留学を楽しみにしていたそうです。



◀仲宗根フェルナンド吉修さん「地球の反対側に、沖縄・西原の文化を守っている人がいるんだと伝えたい」



大城アレシャンドレ明広さん「自分のバンドで来年のウチナンチュ大会に出演したい」



◀久田ナディナ・ジェシカさん「親戚の家では日本語より沖縄方言が勉強になっている」

▼今は町役場で日本語の勉強中。その後事業所で実務研修が予定されています。



仲宗根さんは自分のルーツを探ってみたいと話す一方、来年の「世界のウチナンチュ大会」には、「ペルーから1000人のニシハランチュを連れてきたい」と目標を語りました。大城さんは日本語の勉強とともに、沖縄音楽や太鼓を学びたいとのこと。研修生の中で最年少の久田さんは「沖縄のことをもっと理解したい。文化や伝統芸能を勉強したい。」と決意を語っていました。滞在中3人は親戚の家にお世話になっているようで、おいしい沖縄料理が毎日食べられて嬉しいと笑っていました。最後に、研修後は母国で、西原町人会のリーダーとしてがんばっていききたいと大きな決意を語ってくれました。

(インタビューを終えて)
3人とも日本語は勉強中とのことですが、すでに語学力はなかなかのもの。勉強だけでなく、どんな地域とも関わっている人々と交流したいとのことなので、地域や自治会などで交流会を行うのもいいのでは?

◀南米研修生に関するお問い合わせ…総務部総務課 ☎94555011